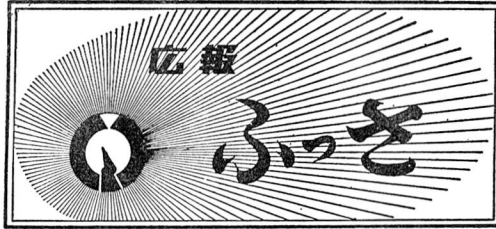


町の人口

昭和42年2月1日現在
 住民登録人口32,148人

内{ 男 15,704人
 女 16,444人

世帯数 9,166戸
 (増) 345人
 1月中 (減) 156人



1967. 2. 5.

No. 70

発行所 福生町役場
 発行兼 調査室
 編集人
 電話51-1511・内線221



寒風について

エイ、ヤー、オメーン 鋭い気合が寒風をつんざいてひびく。

小学生から中学生、女剣士を含めて40数名の豆剣士が、いま寒空の下、頬をまっかきにそめて竹刀(しない)1本に全精神を打込んでいる。やがてこの子等ははくすくすと身も心も健康に成長していくでしょう。

福生警察署では青少年の健全な育成のため、毎週水曜日、土曜に剣道を、火曜日、金曜日に柔道の指導を午後4時から行なっています。

(写真は福生警察屋上で寒稽古に励む豆剣士)

季節の話題

きさらぎ

二月のことを和名で「如月(きさらぎ)」といいます。立春の月でありますが、まだ寒い日が多いので、「着物をさらに重ねて着る」ことも多いことから「きさらぎ」というとも伝えられています。

立春は四日ですが、暦の上に春がきても、まだまだきびしい寒さがつづきます。まして、進学のお子さんのおられる家庭では、春どころではありません。家中の人がお子さんと一緒になって、神絲をつかわれていることでしょう。

旧暦の二月は、太陽暦でみると草や木の芽がふくらみ始める時に当たることから「草木のはりふくらむ月」が約されて「きさらぎ」となったという説と、また「陽気が更に来る」「気更来」だともいわれています。まことに二月はこれから動きだす一年への基礎づくりの月で、プロ野球の選手も、この月に基礎的な訓練を行ない、長いシーズンにそなえます。受験生もこの月の仕上げが、輝しい進歩につながっています。

二月の「きさらぎ」は着重ねるのではなく、わたしたちは「気更来」として元気に充実した月になりたいものです。



本年度 第三次 財政再建計画変更の公表

歳入は四五四万一千円増額

歳出は人件費など一部変更

昨年十二月に開催された町議会で福生町財政再建計画変更が提出され、議決されましたが、本年一月六日付で都知事の承認を得ることができましたので、その内容をお知らせします。今回の変更計画は歳入が四五四万一千円の増額となり、また歳出においては二十六号台風による災害復旧費の増額や人件費の減額など一部変更がありました。なお昭和四十年年度の決算確定により、赤字残額は現在計画より四九万七千円減の四三六万六千円となりましたので、歳入歳出とも計画においてこれを減額させてあります。主な変更内容はつぎのとおりです。

赤字解消計画表 単位千円
区分 年度 当初計画 変更計画 比較
40年度解消 11,000 47,778 36,778
41 25,500 26,000 500
42 30,000 17,676 Δ12,324
43 24,954 0 Δ24,954
合計 91,454 91,454

歳入の変更 (増額したものの)
▽ 国有施設等所在市町村助成交付金(横田基地があるため国から交付されるお金) 二二万三千円

▽ 都支出金(東京都から交付されるもの) 七万七千円
▽ 選挙事務費や一般事務補助金 七万七千円
▽ 財産収入(校舎とりこわし材の売却代金) 三〇〇万円

▽ 繰入金(と畜場会計から繰入れたもの) 三〇〇万円
▽ 諸収入(国民年金印紙売払代金) 二六七万八千円

▽ (減額したものの)
▽ 国庫支出金(国から交付されるお金)
▽ 学校建設費、横田基地周辺排水工事の補助金五六万七千円

歳入は合計四五四万一千円増額
▽ 歳出の変更 (減額したものの)
人件費(役場で働く人の給料) 六六万三千円

普通建設事業費
歳入減に伴い五三六万円
一時借入金(収入と支出の差を補う) 五四万一千円
扶助費 十九万円
物件費
国民年金印紙代金、学校用備品

投票率は七六%

衆議院議員選挙の結果

衆議院議員及び最高裁国民審査の投票は一月二十九日午前七時から町内六ヶ所で行われ、おこなわれましたが、午後から寒い小雨模様のため投票の出足が気づかれましたが、午後から気温も回復し投票率も再び前(昭和三十八年)の六八・九%を上回る七六%で婦人の投票率はや、向上しました。しかし、西多摩郡の市町村のなかでは最低の投票率でした。開票結果はつぎのとおりです。

投票率
投票者数 一五、八九八
投票率 七六・〇七%
無効投票 一七六票

投票所別投票率
投票所 有権者数 投票者数 投票率
1 福生町役場 3,134 2,476 79%
2 第1小学校 3,256 2,606 80%
3 第2小学校 3,464 2,652 76.6%
4 自治会館 4,812 3,592 74.7%
5 すみれ保育園 3,039 2,178 71.7%
6 都立多摩工業高校 2,193 1,633 74.5%
合計 19,898 15,137 76%

土橋 一吉 七九三
北条 秀一 七五四
岩崎 筆吉 一
維持補修費(道路などの修理のための費用) 五四万一千円
扶助費 一五八万八千円
災害復旧費(台風二十六号による復旧費) 八九万二千円
なお、今回の変更により、予算総額は六億一三八〇万七千円となりました。

1月の交通事故
区分 年度 死亡 重傷 軽傷 小計 物件事故 総件数
42年 1 6 21 28 23 51
41年 0 2 13 15 23 38
1月の火災
区分 年度 全焼 半焼 部分焼 車両 同野 合計
42年 4 0 3 1 0 7
41年 0 0 0 0 2 2

1、29 衆議院議員選挙、最高裁判所裁判官国民審査
1、20 月例出納監査
1、24 日米友好協議会、於福生町
1、15 成人式、於福生町自治会館 二七〇名出席
1、12 臨時議会
1、8 昭和三十九年度一般会計補正予算(二号、四号)と畜場特別会計補正予算(二号)議決される
1、6 出初式於第一小学校々々
1、5 衆議院議員選挙告示
1、4 アジア大会棒高とび銀メダル瓜生選手祝賀会
1、3 福生町消防団、優良消防団として東京都消防協会から表彰される

町のあゆみ

町都民税 所得税 事業税

の申告は三月十五日まで

今年、町都民税、所得税、事業税の申告期限が三月十五日にきまり、所得税の確定申告をした人は町都民税、事業税の申告義務がなくなりまし。つぎの点をよく読んで、該当者は必ず申告してください。

町都民税の申告をしなければならぬ人

▽ 昭和四十二年一月一日現在福生町に居住する人で○才以上の、ただし、所得税の確定申告をされた人は申告する必要はありません。

商業、農業、工業などを営む

宮本橋の隣の橋である。宿は地名で寛文十二年(一六七二)の福生村検地帳にも書かれているから、少なくともその当時すでにあった地名であり、玉川上水ができてから約二十年後の記録であること、またここを通る道の重要さからして、この橋はおそらく上水ができた当初から、ここにかかっていたものと思われる。つまり、この宿橋を通る道は、その昔は八王子道や箱根街道、江戸街道といった道と、水田の渡しをはさんで、対岸の草花、平井方面とを結ぶ当時の銀座通りのようなもの

福生むらびし

で、人馬の往来もなかなか盛んだった。(さ)これらの通行人旅人のための宿や店の類がこの辺にあつたため、宿という地名がつけられ、そこにかかる橋だから宿橋ということになったかと思われる。もつとも、昔の牛浜の渡しが今の多摩橋となり、交通がひんばんになるのに反比例して、水田の渡しの方は永田宿橋とはなつても、昔の宿橋やかさは失われ、今は宿橋も何か日陰に咲く花のような感じの橋になつてしまった。今の橋は、昭和十一年に改築されたものである。

⑥ 宿 橋

▽ 所得税の確定申告をされた人
▽ 配当所得の分離課税の適用を受けている納税者は、配当所得も合わせて、人馬の往来もなかなか盛んだった。(さ)これらの通行人旅人のための宿や店の類がこの辺にあつたため、宿という地名がつけられ、そこにかかる橋だから宿橋ということになったかと思われる。もつとも、昔の牛浜の渡しが今の多摩橋となり、交通がひんばんになるのに反比例して、水田の渡しの方は永田宿橋とはなつても、昔の宿橋やかさは失われ、今は宿橋も何か日陰に咲く花のような感じの橋になつてしまった。今の橋は、昭和十一年に改築されたものである。

せて申告してください。

▽ こんな人は余分の税金を申告をしなければならぬ人

▽ 申告期限後に申告したとき

▽ 申告書に記入もれがあつたとき

▽ こんな場合にはいづれも控除(社会保険、生命保険)が受けられないばかりでなく、その所得金額がわかつたときは相当の高い税金を余分に納めていただくようになりますから、必ず申告期限までに申告してください。

こんな人は注意を

今年から所得税の確定申告書が送られる人には事業税の申告書用紙が送られません。したがって確定申告書用紙が届いて確定申告義務のなくつた人は、役場宛に、町都民税、事業税の申告書用紙を請求してください。

申告書の共同受付のご利用を

申告書は納税者に郵送しました。申告書の提出は三月の共同受付をご利用ください。

▽ 日時 三月七日、八日、九日 午前九時から午後四時まで

▽ 場所 役場二階会議室

納税相談のご利用を

昭和四十一年中の譲渡所得を中心に所得税の納税相談を行ないますのでご利用ください。

▽ 日時 二月二十三日、二十四日

▽ 場所 福生町役場二階会議室

火の始末 人にしたのむなまかせるな

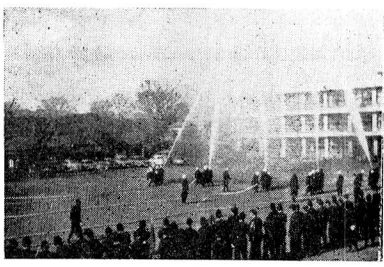
出初式おこなわれる

恒例の出初式は、1月8日午前10時から寒風の吹きすさぶ第1小学校々庭でおこなわれました。町長、団長の挨拶ののち、202名の団員たちは、指揮者の号令のもと分列行進、ポンプ操法、一斉放水などきびきびと実施し、優秀な福生町消防団の力を見せてくれました。なお、消防のために尽力されたつぎの方々が団長から表彰されました。15年勤続 天野勇、石川篤之、松本正男、清水長治、森田洋三、窪田成司、細谷勇 精勤者 森田光一、細谷唯一、清水信作、木村久雄、高水昌男、松崎勝、森田勝夫、高橋康夫佐、安藤文夫、国分義人、増淵精一、荒幡利夫、森田安明、細谷幸次、伊東正躬 火災早期発見者 細谷正雄、中村美恵、木村力蔵、村川りさ子



たべたいな砂糖のお城

このたび、横田基地下士官クラブから砂糖でできた大阪城の模型が送られました。これは下士官クラブのペーカー4人が、約95kgの砂糖を使い、1ヶ月半をついやし製作したものです。砂糖をかため一枚一枚つみ重ねた石垣や瓦、ザラメの砂やココアの土などとても砂糖とは思えないほど精巧にできています。早速、住民ホールに飾りつけましたが、役場を訪れる人の目を楽しませています。



この人に聞く

② 福生郵便局長 氣賀沢栄枝氏



人口が増加し、町の産業（特に商業）が発達しますと、郵便の量も増加していきます。そこで私たちの心と心のかけ橋となる郵便物を扱う福生郵便局長さんいろいろなとお聞きしてみました。

局長さんは福生の前はどちらにいらっしやいましたか。

山梨県の塩山市におりました。一昨年の七夕まつりのときに福生へきましたのでちょうど一年半です。

福生町の印象はどうですか

私は以前に立川郵便局にいたことがありますが、同じ基地のある町という関係から立川市と非常に似ていると思います。ただ前にいた塩山市と福生町は人口はほとんど同じですが、静かな塩山市に比べ福生町は首都圏整備法下による町といますか、これからはますます膨張していく町という感じをうけました。郵便物の取扱も多い

ですね。特に横田基地の関係から国際郵便が多く、年間約五万通を扱っております。

現在一般郵便物の取扱件数はどうですか

一日平均配達七〇〇〇件、受付三〇〇〇件です。年賀ハガキは今年には受付六十三万通、配達は六十七万通でピークには三十四名のアルバイトを使いました。

職員は何名おられますか

現在七十名です。このうち約半数が外勤で福生町と秋多町を取り扱っております。そのほか福生加美、牛浜に特定局を、熊川に簡易郵便局をおいてみなさんの利便をはかっています。

町が激しく変貌しておりますので局長さんいろいろな対策に大変お考えですか

変えたいが、その仕事は町の動きと密接な関係がありますので、町の中はたえず巡回して、町の動きには最大の注意をはらっております。

す。そして職員やポストの増加などの対策をたてるわけです。ポストは昨年は一ヶ所ふやし現在四十四ヶ所ですが、今年に更にふやそうと思っております。また加美平団地の対策も現在考えております。町政に対してどんなことをぞみますか

そうですね、まず住居表示を一日も早くしてもらいたいと思っております。年末のデパートの配達などわからなくて局に聞きにくる人が多いですね。それから一日も早く市政を実現してもらいたいと思っております。気分的にも違いますから。現在都下では十八の普通局がありますが、町は福生、清瀬、瑞穂の三つだけです。

届け先不明の手紙はたくさんありますか

月平均二〇一三〇通あります。これ等は三ヶ月保存し、大切なものをのぞき処分しています。

町民のみなさんにのぞむことはまず全家庭で表札と郵便受箱をそろえてもらいたいと思いませんか

現在表札は八〇％、郵便受箱は五〇％の家庭がつけているようです。また犬は必ずつないでもらいたいですね。昨年は七人がかまれました。郵便物の宛名と差出人もはっきりと書いてもらいたいと思っております。郵便貯金も地方自治体の大切な資金となっておりますので、大いに利用してもらいたい

日曜集配中止についてはどうお考えですか

現在、全国的にもかなりの市や町でおこなっております。郵政省ではこれ等の結果のデータを集めるこの問題について検討しておりますので、我が国もその方向へ進むものと思います。

最後に福生郵便局の将来について

町の発展が急テンポで現在の建物はまだ建ててから八年たらずですがもう狭くて十分みなさんへのサービスができなくなっている状態です。このため姑息的な手段でなく十年、二〇年先の町の発展を考え、これに対処できるような立派な局舎をたてる計画をすすめて協力的です。これには郵政省も非常に力をつけて、みなさんの利便をはかっていると思います。

激しい町の変貌は郵便局内にもいろいろな対策を打ち出させているようです。郷土史に興味をもつという局長さんは、質問のあいまに福生の地名から広域行政の話までいろいろお話ししてくださいました。特に秋多町の人口を福生へ集中させる商業政策、水田開発問題、青梅線の東京直通増発の必要性など広い視野にたつて鋭く町をみつめていることがうかがえます。

Ⅱ投書Ⅱ 犬と私

「この犬さんは毎日私の家のまわりに来て、ゴミをちらかし、子供を追いかけ大変困ります。我が子のように可愛がっていらつしやると思いますが、何とぞつないでおいでください」と便箋にたたため封筒に入れひもをつけ、今日もきつと来るあの犬の首につけてやると待ち毎日数匹の犬が家のまわりをうろつくようになりました。みな飼犬ですが飼主はわかりません。そこで犬に手紙をつけます。でも大嫌いの悲しき犬でも首へ手紙をつけることは私一人の力でできるものではありませんでした。外を見るとだいま五匹、まもなく子供が幼稚園から帰つて来ます。また昨日のように五匹の犬につきまよとわれ、泣声をあげることでしょ。飼主には悪いけれど、石ころを一つ拾つて「いまお母さんが迎えに行くから待つてなさい」と心の中心でいつている弱虫の私です。（福生 一主婦）

飼主のみなさん、放し飼いがどんなに迷惑をかけるかわかりですか。犬は必ずつないで飼いつてよう。また犬の放し飼いで困つている方は衛生係へご連絡ください。係では保健所に野犬狩の連絡をとります。

（投稿歓迎 みなさんのご意見やご希望をどしどしお寄せください）